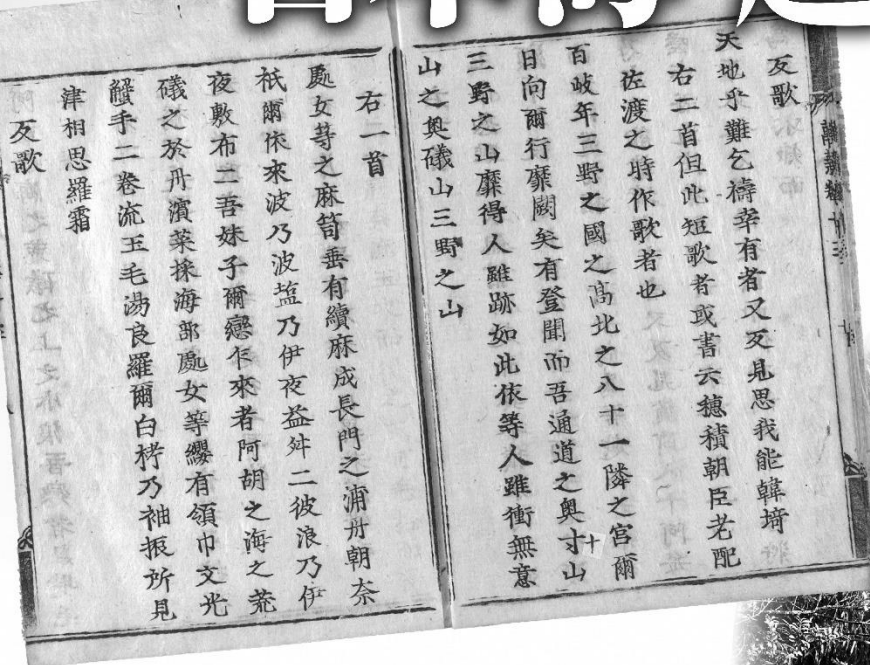


# 『万葉集』と 日本海・越・佐渡



日時 令和5年11月5日(日)  
13:00~16:00(12:30開場)

会場 アミューズメント佐渡 小ホール  
(佐渡中央文化会館 佐渡市中原234-1)

定員 100名(申込不要、先着順)

お問い合わせ先

佐渡市教育委員会 社会教育課 佐渡学センター  
TEL 0259-52-2447(佐渡博物館内)

## シンポジウム

基調講演 藤原茂樹氏 (高岡市万葉歴史館館長)

「『万葉集』と日本海・越・佐渡」

講演 中本真人氏 (新潟大学人文学部准教授)

「古代佐渡と万葉歌人」

講演 新谷秀夫氏 (高岡市万葉歴史館学芸課長)

「街じゅうに万葉ころがる 高岡市  
—無形資産《越中万葉》の活用によるまちづくり—」

## 開催趣旨

天平18年(746)、大伴家持は越中守に任じられて、越中国府(現在の富山県高岡市)に赴任しました。それから都へ帰任する天平勝宝3年(751)までの間、家持は越中を拠点として、日本海や越(こし)の地域に目を向け続けました。そのため『万葉集』には、越の国々の歌が多く収められています。

古来、日本海沿岸は、大陸に開けた先進地域でした。今回のシンポジウムでは、『万葉集』を通して古代の日本海、越の国々、さらに佐渡を見直したいと考えます。特に高岡市万葉歴史館に全面協力していただき、『万葉集』を通してうかがえる地域の魅力や、万葉集を生かしたまちづくりの取り組みについても紹介します。また会場では、『万葉集』と大伴家持、越、佐渡に関するパネル展示も予定しています。

## 講師紹介

### 藤原 茂樹氏 高岡市万葉歴史館館長

1951年 東京都生まれ。

主な著作に共著『万葉びとの言葉とこころ』、『藤原流万葉集の歩き方』(NHK出版)、『催馬楽研究』(笠間書院)など。

### 中本 真人氏 新潟大学人文学部准教授

1981年 奈良県生まれ。

主な著作に『宮廷御神楽芸能史』、『宮廷の御神楽—王朝びとの芸能—』、『なぜ神楽は応仁の乱を乗り越えられたのか』(新典社)、『内侍所御神楽と歌謡』(武蔵野書院)など。

### 新谷 秀夫氏 高岡市万葉歴史館学芸課長

1963年 大阪府生まれ。

主な著作に『万葉集101の謎』、『古代史がわかる『万葉集』の読み方』(以上、共著)、『越中万葉うたがたり』、『うたわれた富山湾』(以上、単著)など。



式内県社 物部神社



佐渡国分寺跡